

SG分科会 WG4 監査役の勘所

監査役 リスク監査

会社名 (敬称略)				
<<記入例>> ○○会社 (ある製造会社) (安全・防災・環境リスクに重要度高い)				
項目	重要度 ランク	評価方法	監査ポイント	備考(補足・あるべき姿等)
1 安全・労働災害リスク	高	・安全衛生計画の進捗状況確認 ・往査時の現場確認、従業員インタビュー ・社会的影響・マスコミ報道がある場合	・職場安全リスクの抽出と改善状況 ・従業員の安全意識改革の状況 ・熱中症対策の状況、・構内協力会社への安全指導状況	無事故無災害
2 防災・自然災害リスク	高	・防災計画・訓練・BCP計画の状況確認 ・往査時の現場確認、従業員インタビュー ・工場の操業停止12時間以上が見込まれる場合	・火災、台風、豪雨、地震、津波に対する対応状況 ・公設消防による消火活動の状況	火災事故ゼロ、操業の継続
3 環境リスク	高	・環境管理計画の進捗状況確認 ・往査時の現場確認、環境モニターの情報確認 ・社会的影響・マスコミ報道がある場合	・規制値超過の防止、環境リスクの低減状況 ・薬品・異常排水漏洩リスクの対応状況 ・行政による立入の状況	環境事故ゼロ
4 コンプライアンスリスク	高	・コンプライアンス意識のアンケート調査結果による評価(隔年実施・グループ全従業員対象) ・従業員インタビュー、内部通報の状況確認	・従業員意識の改善状況、企業行動憲章の周知教育状況 ・パワハラ、セクハラ、職場の雰囲気・コミュニケーションの状況 ・働き方改革(残業、年休)、贈収賄・腐敗行為防止の状況	コンプライアンス事故ゼロ
5 設備・製造リスク	中	・設備老朽化更新状況の現場確認 ・設備トラブル防止対策の水平展開の状況確認 ・操業トラブル対策、教育訓練状況の確認	・工場の生産・効率の状況 ・工場の製造コストの状況	
6 品質・製造物責任リスク	中	・品質クレームの状況確認 ・品質規格・作業基準の遵守状況 ・製造物の欠陥により、生命・身体・他の財産が損害	・過去の重大クレーム再発防止の状況 ・製造物の回収、行政への報告が必要になった場合	品質トラブルゼロ
7 業績・収益リスク	中	・月次決算・コスト会議での評価 ・社長、取締役のヒヤリング ・重要会議での審議報告事項での評価	・工場コスト、操業の状況 ・販売・在庫量・価格の推移	
8 購買リスク	低	・月次決算・コスト会議での評価	・原材料市況 ・重油・ガスなどエネルギー市況	
9 営業リスク	低	・全国営業所長会議での評価 ・営業所往査時の確認、従業員インタビュー	・販売・在庫量・価格の推移 ・市場・重要客先の状況 ・業界他社の動向	
10 海外事業・輸出リスク	低	・社長、取締役のヒヤリング ・重要会議での審議報告事項での評価	・為替の状況・海外市況 ・進出国の政情	
11 中期経営リスク	中	・社長、取締役のヒヤリング ・重要会議での審議報告事項での評価	・生産体制再構築の状況 ・環境ビジョン2050などの環境行動目標への対応状況	
12 内部統制・ガバナンス関連リスク	中	・内部監査部による監査立会・状況ヒアリング ・内部監査部の水平展開事項のセルフチェック状況 ・往査時の経理担当者への確認	・各種規定類※の整備不備 ・現預金管理・金庫管理の不備 ・棚卸管理の不備	※取締役会規定、稟議規定、職務権限規程、就業規則、賃金規定、印章管理規定、等
13 会計・決算報告関連リスク	中	・決算会議での評価 ・会計監査人による会計監査ヒアリング	・対前年、前々年の数値変動を確認 ・内部統制、J-SOXの有効性	
14 人事・労務リスク	中	・人事担当者へのヒヤリング ・往査時のヒアリング	・退職・採用の状況 ・懲罰の状況 ・新型コロナウイルス感染の対応状況	
15 総務・法務リスク	中	・重要会議での審議報告事項での評価 ・法務部よりの情報確認	・重要契約書の確認状況 ・重大な法令違反の発生・マスコミ報道の状況 ・総会関連の状況	
16 情報漏洩リスク	中	・往査時の現場確認、従業員インタビュー ・情報管理部門よりの情報確認	・情報システム利用・リスク管理規定の周知遵守状況 ・ビジネスメール詐欺やウイルス感染防止の取組状況 ・サイバー攻撃を受けた場合	

会社名 (敬称略)				
項目	重要度 ランク	評価方法	監査ポイント	備考(補足・あるべき姿等)
1				
2				
2				
3				
4				
5				
5				
5				
6				
6				
7				
7				
8				
9				

10				
11				
12				
13				
14				
14				
15				
16				